

## プログラム1 疾病診断用プログラム

管理医療機器 X線画像診断装置ワークステーション用プログラム JMDNコード: 40935012

### ファットスキャン

#### 【形状、構造及び原理】

##### 1. 概要

本プログラムは、X線コンピュータ断層撮影装置(CT)で得られた情報をさらに処理して、内臓脂肪面積を計測し診療のために提供するプログラムである。本プログラムは記録媒体で提供され、汎用IT機器にインストールして使用する。

##### 2. 動作環境

汎用IT機器の仕様

インストール可能な汎用PC及び組合せる画像表示モニタ

安全性: JIS C 6950-1 適合

EMC: CISPR 22/ CISPR 24、又はVCCI 適合

汎用PC性能

OS: Windows 7以上

メモリ: 1GB以上(2GB以上を推奨)

HDD(空き容量): 100MB以上

画像表示モニタ

推奨解像度: 1280×800ピクセル以上

設置方法

汎用IT機器は、患者環境外に設置する。

##### 3. 接続例



##### 4. 性能

###### (1) 外部装置との入出力機能

DICOMデータのPCへの取込み処理

DICOM3.0(腹部CT1スライス画像) / BMP

(ファイル読込可) / DICOMタグ情報自動入力

計測結果のDICOM化

計測結果の他システムへの送信機能

データ出力機能

検査結果レポート(DICOM, BMP, PNG, JPEG)

計測画像(DICOM, BMP) 計測結果データ(CSV)

###### (2) 画像表示機能

透過スキャナーでの画像ファイル化と表示

PC上でのCT画像表示

設定脂肪値の該当部分の表示色変化(腹部脂肪の表示)

###### (3) 画像や情報の処理機能

計測機能

内臓脂肪・皮下脂肪・全体脂肪の自動計算 / SD

自動判定 / 胴回り長自動計算 / BMI計算

計測結果データベース機能

計測結果。画像保存件数(最大5万件) /

データ修正・検索 / 診断コメント追記

#### 【使用目的又は効果】

本ソフトウェア(プログラム)は画像診断装置等から提供された人体腹部の画像情報をコンピュータ処理し、処理後の画像情報を診察のために提供する。

#### 【使用方法】

##### 1. 使用準備

(1) 本プログラムがインストールされた機器の電源を入れる。

(2) 本プログラムを起動する。

##### 2. 操作

(1) 画像データを取得する。

(2) 機能を選択する。

(3) 計測結果の表示を行う。

取扱説明書を必ずご参照ください

(4) 結果を保存する。

3. 終了

- (1) 画面上の終了アイコンをクリックするか、メニュー項目から終了機能を選択し本プログラムを終了させる。
- (2) 必要に応じて電源を切る。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：

株式会社 東日本技術研究所  
Tel.0294-52-8888

製造業者：

株式会社 東日本技術研究所  
Tel.0294-52-8888

**【使用上の注意】**

1. 推奨CT撮影条件

臍部(腰椎L4中心)1スライスを撮影

WindowsWide=800~1000、WindowsLevel=0

管電圧 120kvp (許容範囲：120~130kvp)

mAs 値=400mA×1sec(スキャン時間)

スライス厚、スライスピッチ 10mm

呼吸位相：最大呼気時撮影

F0V：被験者の体幹全体が入るよう設定する。

姿勢：原則として膝を伸ばして手を挙げた姿勢。

2. 超肥満及び超痩身の被検者の画像は正しく計測されない事が有ります。その際は手動計測にて面積測定して下さい。
3. CT画像にスケールや文字等が体に重ならないよう撮影して下さい。
4. DICOMデータがセカンダリキャプチャ画像の場合は計測出来ません。
5. ネットワークに接続した環境で使用する場合は、コンピュータウイルス及び情報の漏洩等に注意する事。
6. 推奨仕様を満たす機器にインストールする事。

**【保守点検に係る事項】**

**使用者による保守点検事項**

機器OSの自己点検プログラムが起動する場合は、問題無きことを確認してから、使用すること。

取扱説明書を必ずご参照ください